

学習会の感想

- ・釧路川が屈斜路湖から流れ出る様子を見ることができたことが良かった。
- ・(屈斜路湖周辺が)今までは魚の棲めない川だったが、pHも改善され魚たちが住み心地の良い川に変わってきていることがわかりうれしかった。
- ・(水質について)大雨の後の変化や、支川の影響などについても講話のような形で説明して欲しい。
- ・水質調査で、色の見分け方がわかりづらかった。
- ・河岸でゴミが目立つところもあるので(特に岩保木水門周辺)、学習会時にはゴミ拾いも実施したらどうか。
- ・動植物や私たちにとって大切な釧路川を、これからも自然と共に大事にしていきたいと思います。

川レンジャーの皆さまへ

- ・今回の学習会は、時間的な制約が多かったため、川レンジャーの皆さまのご希望に添えなかった部分が多いと思います。(各観測地点で、にわか雨にも当たりましたし…)
- ・事務局の説明が悪かった点につきましては、改善していきたいと思っております。
- ・川レンジャーの皆さまからいただきました御意見は、今後の学習会企画の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



釧路川の流れ出し「眺湖橋」にて



釧路湿原川レンジャー News

2005 / Vol.3

第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

釧路川で水質調査

平成17年7月31日(日)に「第2回釧路湿原川レンジャー学習会」が行われ、19名が参加して釧路川流域の弟子屈町屈斜路湖畔・標茶町富士樋門・釧路町岩保木の3箇所で水質調査を実施しました。

最初に屈斜路湖畔では、本日の水質調査の実施方法について説明を受け、手順に沿って調査が進められました。

まず屈斜路湖の水を手ですくい「におい」を嗅いだり、水の中や水際の「ゴミの量」などをチェックした後、バケツに汲んだ屈斜路湖の水を測りました。

水質調査の目的

河川の水質は、地域の人々の暮らし(飲み水、農業用水、工業用水など)に大きく関わるのみではなく、野生生物(動物、植物など)の生息にも大きな影響を持っているものです。

釧路川の水質もここ数年悪くなっていると言われており、釧路湿原の生態系に及ぼす影響も懸念されています。そのため、釧路川の水質を保全していくことは、現在残されている釧路湿原の貴重な自然環境を守るために大切な意味を持つものです。

今回は、「釧路川の水質の現況を川レンジャーと協働で把握する」目的で水質調査を実施しました。水質調査は、国土交通省が「従来の指標(BOD)のみでは評価しきれない川の水質を地域の人々に対して分かりやすい方法で評価する」という観点から取り決めた、河川水質の新しい指標をもとに実施しました。

【水質調査内容】

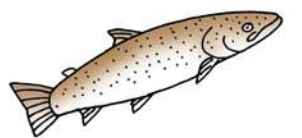
「におい」や「ゴミの量」、「透視度」は、人と河川の豊かなふれあいを確保するための大切な目安であり、そのほかの調査は、生物の生息や生育・繁殖環境など、豊かな生態系を確保する上で重要な調査で、参加者は記録表に各調査結果の数値を記入し、【水質管理指標】に照らし合わせながら水質のランクを判定しました。

■人と河川の豊かなふれあいの確保

ランク	説明	ランクのイメージ	【水質管理指標】		
			ゴミの量	透視度(cm)	水の匂い
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見えない、全く気にならない	100以上	不快でない
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快でない
C	川に近づきやすい		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる風下の水際に立つと不快な臭いを感じる
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満	風下の水際に立つと、とても不快な臭いを感じる

■豊かな生態系の確保

ランク	説明	【水質管理指標】	
		DO(mg/L) (溶存酸素)	NH4-N(mg/L) (アンモニウム態窒素)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの



釧路川の水質調査に参加した川レンジャーのみなさん



屈斜路湖・標茶町市街・岩保木で水質調査

水質調査の解説

調査項目	調査内容
DO(溶存酸素)調査	水中に溶けている酸素の量を測る調査。 数値が大きいほど魚が棲みやすい川であるといえる。
NH4-N(アンモニウム態窒素)調査	水中にアンモニウム塩として含まれている窒素の量を測る調査。 数値が大きいほど汚染されているといえる。
pH(水素イオン濃度)調査	水の酸性、アルカリ性の度合いを測る調査。 pH7の時が中性。
透視度調査	水の濁りの程度を測る調査。 数値が大きいほど濁りが少ない水といえる。

屈斜路湖での調査



人と河川の豊かなふれあいの確保

※参加者19名

地点名	ゴミの量	透視度(cm)	におい	総合判定
眺湖橋	A: 17名 B: 2名	113~130 A: 19名	A: 19名	A: 17名 B: 2名

豊かな生態系の確保

地点名	水温	pH	DO	NH4-N	総合判定
眺湖橋	18.0~19.0	7.0~7.5	5.0~9.0 A: 7名 B: 12名	0.2~0.8 A: 6名 B: 11名 C: 2名	A: 3名 B: 14名 C: 2名

標茶町富士樋門での調査



人と河川の豊かなふれあいの確保

※参加者19名

地点名	ゴミの量	透視度(cm)	におい	総合判定
標茶開運	A: 10名 B: 9名	43~90 B: 17名 C: 2名	A: 14名 B: 5名	B: 17名 C: 2名

豊かな生態系の確保

地点名	水温	pH	DO	NH4-N	総合判定
標茶開運	17.0	7.0~7.5	5.5~8.0 A: 4名 B: 15名	0.2~0.8 A: 5名 B: 13名 C: 1名	A: 1名 B: 17名 C: 1名

釧路町岩保木での調査



人と河川の豊かなふれあいの確保

※参加者18名

地点名	ゴミの量	透視度(cm)	におい	総合判定
岩保木水門	A: 2名 C: 9名 B: 6名 D: 1名	54~73 B: 11名 C: 7名	A: 7名 B: 11名	B: 5名 C: 12名 D: 1名

豊かな生態系の確保

地点名	水温	pH	DO	NH4-N	総合判定
岩保木水門	18.0~19.9	6.5~7.5	4.5~8.0 A: 11名 B: 4名 C: 3名	0.2~1.5 A: 6名 B: 11名 C: 1名	A: 5名 B: 9名 C: 4名